練馬区立大泉西中学校

	課題分析	授業改善策	評価
年	○中学校で初めて取り組む技 法や制作方法に興味をもっ ている生徒が多い。一方、 消極的な生徒も一定数い る。	○資料や板書を充実させる。○机間指導の中で一人一人の活動を丁寧に見て、生徒が質問しやすい状況をつくる。○発想の段階でどのように考	
	○制作の際に自分が表現した いことを具体的に想像でき ていない生徒が多い。	えを深め、まとめていくのか、 発想の仕方について丁寧に 指導する。	
	○授業アンケートでは、「授業 外で意欲的に学習すること ができた」と回答している 生徒が少ないことから、生 活の中にある美術的視点や 芸術的要素に気付けていな いことがわかる。	○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。	
2 年	○これまで培ってきた技能や 発想力を活かして制作に取 り組んでいるが、さらに個性 を発揮し、発展した表現をし ている生徒が少ない。	○生徒自身がどんな個性をもっているかに気付かせるため、様々な作品に触れさせ、どう感じるか、その感じ方と向き合う場面をつくる。	
	○授業アンケートでは、「授業 外で意欲的に学習すること ができた」と回答している生 徒が少ないことから、生活の 中にある美術的視点や芸術 的要素に気付けていないこ とがわかる。	○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。	
3 年	○効率的で美しい仕上がりに なる制作の手順を理解でき ていない生徒が多く見受け られる。	○制作の見通しを立たせるために、計画表を表示し、各工程の平均的な所要時間と制作のポイントを伝える。	
	○授業アンケートでは、「授業 外で意欲的に学習すること ができた」と回答している生 徒が少ないことから、生活の 中にある美術的視点や芸術 的要素に気付けていないこ とがわかる。	○美術が絵画や彫刻作品の制作だけでなく、身近にもあることに気付くような発問をしたり、授業の題材に関連する有名作品や製品について鑑賞したりするなど学習の幅を広げる。	